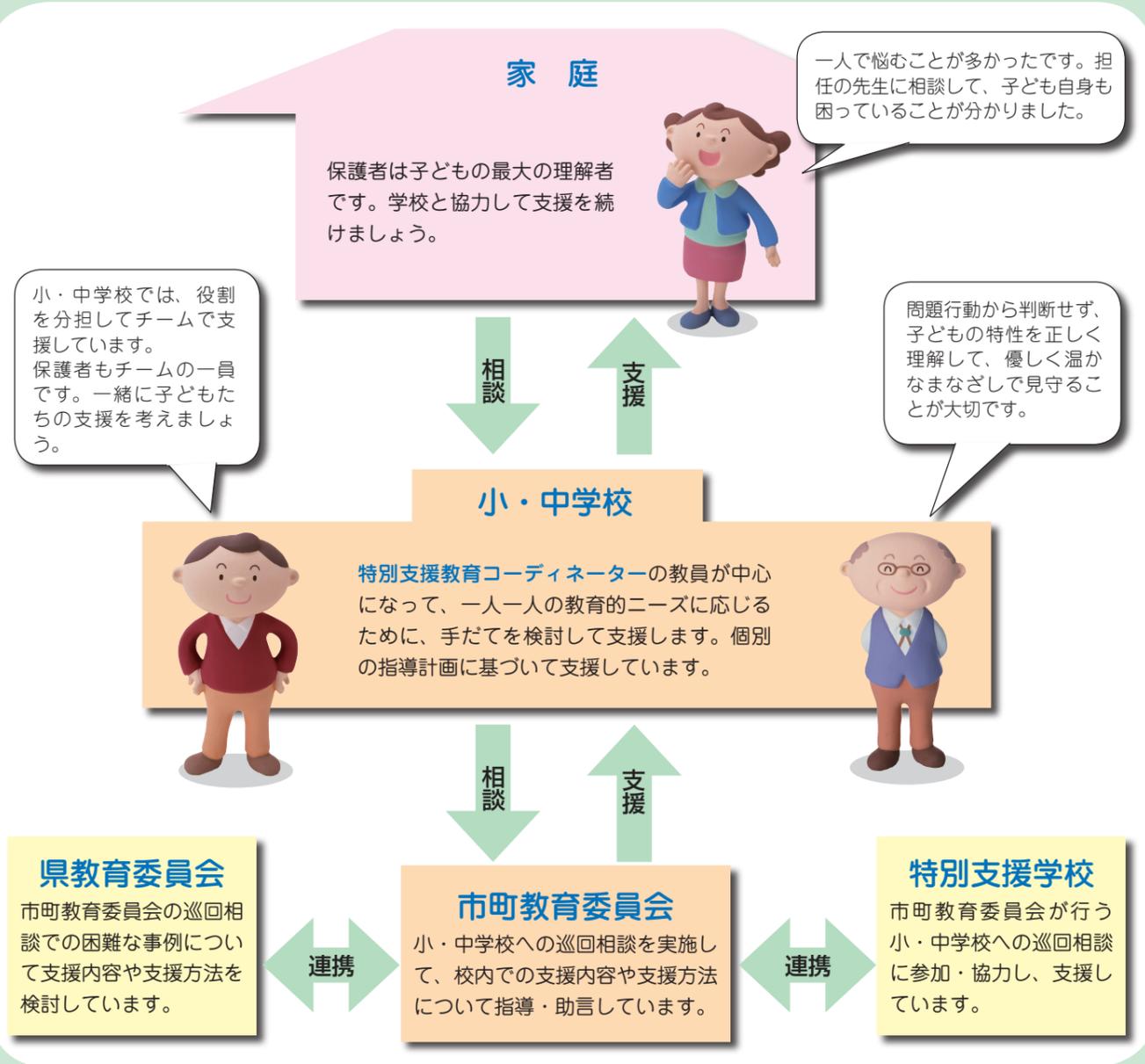


一人で悩まずに、まずは学校に相談を



栃木県の相談機関等

〔教育関係〕

住所地の市町教育委員会

住所地を所管する教育事務所

県総合教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL028-665-7210

TEL028-665-7211

特別支援学校（盲・聾・養護学校）

〔保健福祉関係〕

住所地を所管する健康福祉センター

発達障害者支援センター（ふぉーゆう）

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1

TEL028-623-6111

■資料に関する問い合わせ先

栃木県教育委員会事務局特別支援教育室

〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1-20

TEL 028-623-3381 FAX 028-623-3379

保護者の皆様へ

特別支援教育啓発資料2

発達障害のある子どもの理解と支援のために

LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害のある子どもの特性を正しく理解して、温かく見守りましょう。



小・中学校では、発達障害のある子どもたち一人一人に応じた支援を始めています。

栃木県教育委員会

いっしょけんめいに行っているのに…子どもたちが困っているのです。



このような子どもたちの中にLD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害が疑われる場合があります。これらの原因は脳の機能的な問題であると推定されています。

本人の努力不足や保護者の育て方によって起こるものではありません。

発達障害のある子どもをもつ保護者の中には、周囲の無理解で悩んでいる人もいます。周囲が発達障害の特性を十分に理解して、よりよい支援をすることが大切です。

子どもも大人も共に支え合いましょう。



よいところを見つめ合い、共に育ち合おうとする姿を温かく見守りましょう。

保護者同士が共に子どものことについて気軽に語り合いましょう。

分かりやすい環境を整えて、教えることが大切です。

◎ 言葉、場所・時間、きまり・学習等 ◎

○具体的な言葉で簡潔に説明しましょう。

【「本は本棚にいれてね。」と言います。「それ、片付けて」では、何をどうしたらいいのかわかりません。】

○物のおき場所を、決めましょう。

【色別のケースなどを利用すると、しまう場所がわかりやすく、整理や片付けがしやすいです。】

○正しい方法やルールを教えましょう。

【「貸してね」って言うんだよ。」と教えます。「そんなことしちゃだめ。」では、どうしたらいいのかわかりません。】

○言葉だけでなく、絵や写真、カードなどを使って、説明しましょう。

【目で見て理解することが得意なお子さんもあります。】

○スケジュール表を作って、予定を知らせましょう。

【予定がわかると、見通しが持てるので、行動の切り替えがしやすくなります。】

○量より質を重視しましょう。

【だらだらと10回書くより、正しく3回書いたほうが効果的なことがあります。】

少しの手助けで のびのびと 育ちます。

◎ どんなときも ◎



☆ほめて、自信を持たせましょう。

「◇◇してはだめ！」とか「何度言ったらわかるの！」と言っていますか。

できたことや努力したことを認めましょう。

「〇〇ができたね。」
「〇〇してくれてありがとう。」

☆お子さんの気持ちに寄り添いましょう。

「どうして、そんなことしたの！」とか「まだできないの？」と言っていますか。

お子さんの気持ちを言葉にしてあげましょう。

「うまく言えなくてイライラしたのね。」
「いっしょけんめいやったのにうまくできなかったのね。」

☆お子さんの可能性を信じましょう。

「育てにくい。」とか「困った子だ。」と思っていないか。

一緒にいい方法を考えましょう。

「このやり方だとうまくできるね。」
「次もいっしょにやってみよう。」